

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 11月 20日

公表: 令和 3年 1月 26日

事業所名 ぶどうのブルー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	個別で対応できるスペースを設置・対応している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	毎月コンプライアンス委員会を開催し、職員配置を実施している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6		玄関・トイレ前に段差がある。今後検討する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	ケース検討等実施し、振り返り等積極的に改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		要望を協議し改善できるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		会議等に参加している。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		研修委員会を設置し、年間を通して研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		サービス計画書や保護者と協議しながら課題に応じた支援ができるように計画書に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		独自の記録を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		チームで検討・実施まで計画を立て実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		毎月プログラムを作成・実施している。保護者への配信も実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		毎月プログラムを作成・実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		子どもの障害の程度等に応じて計画書を立てている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	申し送りを行い情報共有等に努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		申し送りを行い情報共有等に努めている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		決められた書式で記録を取り、計画書等に反映している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		会議等で見直しの必要性等話し合いに努めている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		取り組みの計画を協議し支援に努めている。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		主に責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	適時、関係機関と連携に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7		在籍児童はいないが、医療的アセスメントなどの書式など、必要になった際の準備も今後検討する必要がある。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4		ケースによっては実施することもあるが、保護者との情報収集が主である。小学校に上がる予定の児童などを対象に今後検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	利用経緯・利用中の経過内容など情報は共有するように努めた。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		コロナの影響もあり今年の研修は実施できていない。落ち着いた状況になれば今後検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		今後検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	定期的に参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	送迎時もしくは電話等で保護者と共有をしている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		7		今後検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時にお伝えをしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	送迎時もしくは電話等で保護者と共有をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		コロナの影響もあり今年には実施できていない。落ち着いた状況になれば今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情連絡先を入り口に掲示とともに、契約時に保護者へ伝え発生した場合も責任者が対応に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		年に数回広報を発行し発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7		個別情報は決められたところに管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		メールやラインを活用し伝達に努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		コロナの影響もあり今年には実施できていない。落ち着いた状況になれば今後検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		フロアにマニュアルを設置し情報共有している。保護者へも案内等で周知に努めている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	虐待防止委員会を毎月開催し、研修や情報共有対策等に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	保護者への事前説明と、同意を得て計画書へ記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		年に1回申告書を保護者へ配布し対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		振り返りの報告時にあつた出来事などを記録として残すように努めている。	